

令和3年度 全国学力・学習状況調査結果及び分析・対策（松江市立八雲中学校）

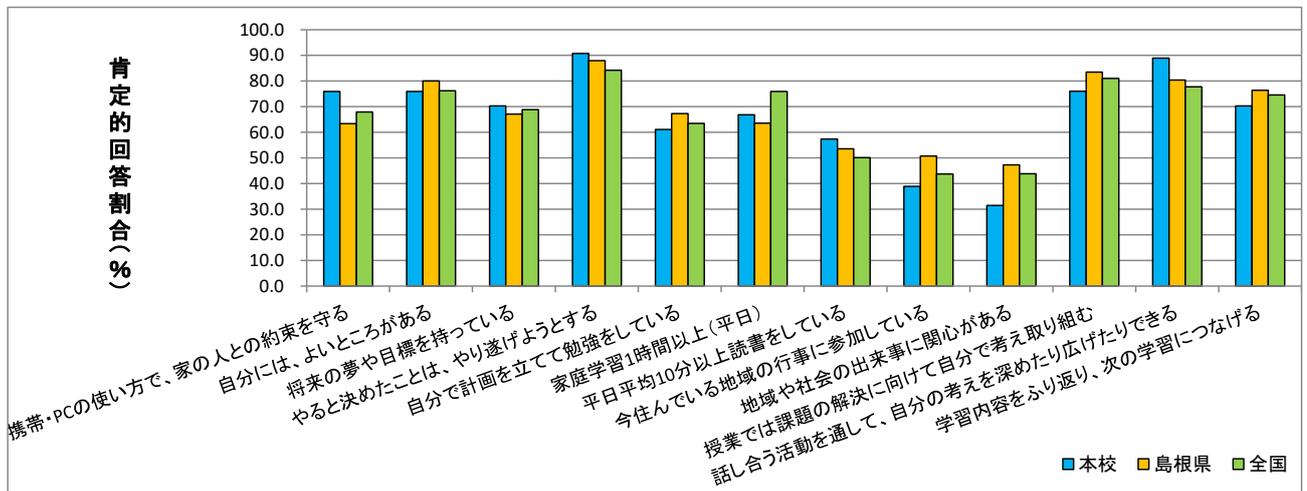
(1)学力調査結果から見られた傾向

	成果と課題(○:成果, ●:課題)	対策
国語	○書くことに対する抵抗が少なく、文章で自分の気持ちや考えを表現することができる。 ●話す・聞く力が弱い。 ●言語に関する知識に乏しい。 ●国語特有の出題形式の間われていることや答え方がわからない。	・国語のベースとなる漢字や言葉、文法の知識・技能を授業や漢字力テスト等でことあるごとに復習する。 ・国語についての興味・関心を喚起するような授業の工夫をする。 ・入試を意識して、国語特有の出題形式に慣らし、答え方を身につけさせる。
数学	○数と式の領域は全国平均に近い。 ○数学的な技能の観点も全国平均に近い。 ●図形の領域を苦手としている生徒が多い。 ●数学的な見方や考え方が弱い。	・図形やグラフの問題に慣れさせる。 ・口頭や記述で、論理的に説明する機会や課題を増やす。 ・問題を読み解き、課題を解決しようとする意欲をもてるような課題を設定する。

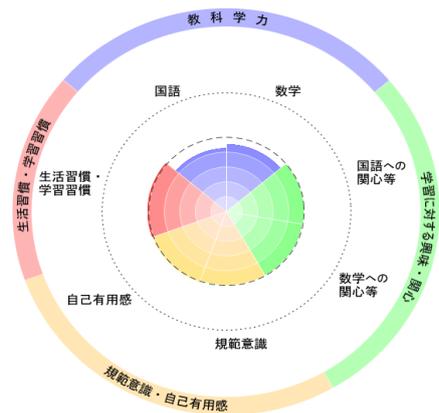
(2)生活意識調査から見られた傾向

	成果と課題(○:成果, ●:課題)	対策
	○決められたことは守ろうとする。 ○話し合いで自分の考えを深めようとしている。 ●計画を立てて勉強することが苦手。 ●地域のことに関心がない。	・中学校3年間を通してキャリア教育を推進し、自分の将来のことについて考えさせる。 ・目先の学習だけでなく、計画表を活かした中期の学習計画を立てたり、学活の時間等を使って、長期的な学習計画を立てたりすることを学ばせる。

(3)意識調査(学力との相関が指摘されているものや、教育委員会として注目しているものを挙げています)



(4)学力調査及び生活意識調査から見られた傾向(破線は全国平均)



(5)その他、今後特に力を入れて取り組むこと

- ・地域とのつながりが感じられる行事や活動を通して、地域に関する理解や地域の人々との交流を進めていく。
- ・与えられた課題だけでなく、自ら進んで取り組める授業、家庭学習の内容を検討し、実践する。
- ・各教科で、今後の学習につなげていける授業の振り返りを意識する。
- ・意欲的に説明したり、他者との関わりの中で、自らを高めようとしたりする機会を積極的に設ける。

【受検者数】 54名

※欠席等により調査によって受検者数が異なる場合は、最少の受検者数をもって表示。